

青病防第39号
令和6年7月31日

報道機関各位

青森県病虫害防除所長
(公印省略)

令和6年度病虫害発生予報第5号(8月予報)について

このことについて、令和6年7月31日付けで発表したの、概要をお知らせします。

報道機関用提供資料	
担当部署	青森県病虫害防除所
担当者	所長 松田 正利
電話番号	直通 017-729-1717

令和6年度病害虫発生予報第5号（8月予報）

【 概要版 】

令和6年7月31日
青森県病害虫防除所

【 概 要 】

- 水 稲：穂いもち、フタオビコヤガはやや少ない、紋枯病、斑点米カメムシ類は多い、コバネイナゴ、ウンカ類は平年並、コブノメイガはやや多いと予想される。
- 大 豆：べと病、ウコンノメイガはやや多い、紫斑病は平年並、マメシンクイガは少ないと予想される。
- りんご：斑点落葉病は津軽地域でやや少なく、県南地域で少ない、モモシンクイガは平年並、クワコナカイガラムシは津軽地域で少なく、県南地域で平年並、リンゴハダニ、ナミハダニはやや多いと予想される。
- 特産果樹：ぶどうの晩腐病、褐斑病はやや少なく、べと病は平年並と予想される。もものせん孔細菌病はやや少ないと予想される。
- 野 菜：ねぎのさび病、斑点性病害、ネギハモグリバエ、ネギコガはやや少ない、べと病は少ない、ネギアザミウマは多いと予想される。ながいもの葉渋病、炭疽病はやや多い、ナガイモコガは平年並と予想される。キャベツのコナガ、ヨトウガはやや少ない、ダイコンアブラムシは少ないと予想される。野菜共通のオオタバコガはやや多いと予想される。

《 農薬使用基準の厳守 》

農薬を使用する場合は、それぞれの農薬に定められている適用作物、使用回数、使用時期、使用濃度を厳守する。使用回数については、含まれる成分によってその回数が制限されるので、同一成分が含まれる剤の総使用回数を守る。

また、使用者の責任として最新の「農薬登録情報」を確認する。

◎ 農林水産省「農薬情報」

[URL] https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/

◎ 農林水産省「農薬登録情報提供システム」

[URL] <https://pesticide.maff.go.jp/>

予察情報は、青森県農業・就農情報サイト「農ナビ青森」にも掲載されています。 [URL] <https://www.nounavi-aomori.jp/>

病害虫に関するお問合せ先

青森県病害虫防除所

〒030-0113 青森県青森市第二問屋町4-11-6

TEL：017-729-1717 FAX：017-729-1900

E-mail：byogaichu@pref.aomori.lg.jp